

②学会等における発表

	<p>発表題名 等 (発表題名、発表者名、発表した学会等の名称、開催場所、口頭発表・ポスター発表の別、審査の有無、発表年月(西暦)について記載してください。) (以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。) ・発表者名は参加研究者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること。共同発表者がいる場合は、全ての発表者名を記載し、主たる発表者名は「※」印を付してください。発表者名について主担当研究者には<u>二重下線</u>、担当研究者には<u>下線</u>、派遣した若手研究者には<u>波線</u>、海外の主要連携研究者には<u>斜体・太下線</u>、連携研究者には<u>斜体・破線</u>を付してください。 ・口頭・ポスターの別、発表者決定のための審査の有無を区分して記載してください。 ・さらに数がある場合は、欄を追加してください。 ・共同研究の相手側となる海外の研究機関の研究者との国際共同発表には、番号の前に「◎」印を、また、それ以外の国際共同発表については番号の前に○印を付してください。</p>
1	Multi-Family Housing Reconstruction Extension & Livelihood Adaptation after the 2010 Eruption of Mt. Merapi Indonesia, Ocvenety,L., <u>Maly,E.</u> and <u>Kondo,T.</u> , JSDRR Annual Conference -, University of Hyogo,oral presentation, 査読無, 2017.10.1
2	梁端ウェブ接合部に設けられためっき抜き円形孔に発生する溶融亜鉛めっき割れに及ぼす鋼材特性の影響、※藤原有希, <u>浅田勇人</u> , <u>田中剛</u> , 山下達雄, 宮坂 淳一、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
3	ガセットプレートが取り付く外ダイアフラム形式箱形断面柱梁接合部の弾塑性挙動、その2：床スラブを有する場合、※矢橋健太郎, <u>浅田勇人</u> , <u>田中剛</u> , <u>竹内佑騎</u> , <u>多賀謙藏</u> , 中尾尊澄, 梅本優也、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
4	極大地震動に対する鋼構造建築物の耐震性能確保に関わる費用対効果に関する研究、※稲田祥太郎, <u>多賀謙藏</u> 、平成30年度日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
5	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その2：衝突時の力積が上部構造に与える影響、※福井弘久, <u>伊藤麻衣</u> , <u>藤谷秀雄</u> , <u>向井洋一</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
6	免震建物の擁壁衝突時の上部構造の応答と減衰効果に関する研究、※森貴史, <u>伊藤麻衣</u> , <u>福井弘久</u> , <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
7	振動台を用いた TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験 その1：リアルタイム・ハイブリッド実験の概要及び TMD の減衰定数の評価、※岡野将幸, 西川慶一郎, <u>伊藤麻衣</u> , <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
8	振動台を用いた TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験 その2：実験システムの妥当性の検証と TMD による制振効果、※西川慶一郎, 岡野将幸, <u>伊藤麻衣</u> , <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
9	MRダンパーによるセミアクティブ制御効果の評価 その1：複素剛性ダンパーモデルの適用、※伊庭駿, <u>藤谷秀雄</u> , <u>伊藤麻衣</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
10	セミアクティブ免震の振動台実験とリアルタイム・ハイブリッド実験、※板原奎樹, <u>伊藤麻衣</u> , <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
11	初期剛性が高い免震装置を用いた建物の地震応答に関する研究、※松田和樹, <u>多賀謙藏</u> 、平成30年度日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
12	OSHW で収録した動画の解析による地震応答モニタリング、※谷明勲, <u>山邊友一郎</u> 、第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム、東京、口頭発表、査読無、2017.12.

13	360度レーザスキャナを用いた救助活動支援情報発信システムに関する研究、※ <u>山邊友一郎</u> 、谷明勲、第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム、東京、口頭発表、査読無、2017.12.
14	GAを用いた鉄骨構造物の構造部材最適配置システムコアを有する事務所建築を対象として、※ <u>山本雅浩</u> 、 <u>山邊友一郎</u> 、谷明勲、第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム、東京、口頭発表、査読無、2017.12.
15	飛来衝突物による建築物の窓ガラスの破壊と破片の飛散挙動に関する実験と解析、※ <u>向井洋一</u> 、小原博人、松本真樹、菅野康史、堀慶朗、千葉文彦、平成29年度衝撃波シンポジウム(日本衝撃波研究会)、宮城、口頭発表、審査無、2018.3
16	ガラス衝突破壊実験とそのシミュレーション、※ <u>向井洋一</u> 、堀慶朗、千葉文彦、建築物への衝撃作用による影響と被害の低減対策に関する研究会(日本建築学会)、東京、口頭発表、審査無、2017.11.
17	Effectiveness of early warning and community cooperation for evacuation preparedness from mega-risk type coastal hazard in childcare centers、※ <u>Abel Táiti Konno Pinheiro</u> 、 <u>Hokugo Akihiko</u> 、8th International Conference on Building Resilience、ISCTE University Institute of Lisbon、口頭発表、査読有、2018.
18	SBPDN鉄筋を主筋に用いたRC柱部材を有するラーメン構造の耐震性能に関する研究、※ <u>中野魁人</u> 、 <u>竹内崇</u> 、 <u>孫玉平</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
19	梁貫通形式角形CFT柱梁接合部に関する実験的研究(その1)十字型試験体、※ <u>村田瑞穂</u> 、 <u>藤永隆</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
20	SBPDN鉄筋を用いた円形RC柱の耐震性能に関する研究 その3 主筋径の影響、※ <u>木村弘基</u> 、 <u>竹内崇</u> 、 <u>孫玉平</u> 、 <u>武田恭典</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
21	矩形RC造片持ち耐力壁の耐震性能に関する研究 その1 実験概要、※ <u>藤谷卓也</u> 、 <u>孫玉平</u> 、 <u>竹内崇</u> 、 <u>武田恭典</u> 、 <u>魏丞瑾</u> 、 <u>山野一樹</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
22	矩形RC造片持ち耐力壁の耐震性能に関する研究 その2 集中鉄筋を平行配筋した試験体の実験結果と考察、※ <u>山野一樹</u> 、 <u>孫玉平</u> 、 <u>竹内崇</u> 、 <u>武田恭典</u> 、 <u>藤谷卓也</u> 、 <u>魏丞瑾</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
23	矩形RC造片持ち耐力壁の耐震性能に関する研究 その3 集中鉄筋を山形配筋した試験体の実験結果と考察、※ <u>魏丞瑾</u> 、 <u>孫玉平</u> 、 <u>竹内崇</u> 、 <u>武田恭典</u> 、 <u>藤谷卓也</u> 、 <u>山野一樹</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
24	H形補強材を付加した角形鋼管柱梁接合部における補強材負担応力の簡易推定法、※ <u>中藤駿</u> 、 <u>浅田勇人</u> 、 <u>田中剛</u> 、平成30年度日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
25	H形補強材を付加した角形鋼管柱梁接合部における補強材負担応力の簡易推定法—その1 外ダイヤフラム形式を用いた柱—補強材接合部の局部剛性の推定—、※ <u>奥山真貴</u> 、 <u>浅田勇人</u> 、 <u>田中剛</u> 、 <u>中藤駿</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
26	H形補強材を付加した角形鋼管柱梁接合部における補強材負担応力の簡易推定法—その2 簡易力学モデルによる補強材の負担応力の推定—、※ <u>中藤駿</u> 、 <u>浅田勇人</u> 、 <u>田中剛</u> 、 <u>奥山真貴</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
27	初期剛性が高い免震装置を用いた建物の地震応答に関する研究、※ <u>松田和樹</u> 、 <u>多賀謙藏</u> 、平成30年度日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6.
28	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その2:衝突時の力積が上部構造に与える影響、※ <u>福井弘久</u> 、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、 <u>向井洋一</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.

29	免震建物の擁壁衝突時の上部構造の応答と減衰効果に関する研究、※森貴史、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>福井弘久</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
30	振動台を用いた TMD リアルタイム・ハイブリッド実験 その1：リアルタイム・ハイブリッド実験の概要及び TMD の減衰定数の評価、※岡野将幸、西川慶一郎、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
31	振動台を用いた TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験 その2：実験システムの妥当性の検証と TMD による制振効果、※西川慶一郎、岡野将幸、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
32	MRダンパーによるセミアクティブ制御効果の評価 その1：複素剛性ダンパーモデルの適用、※伊庭駿、 <u>藤谷秀雄</u> 、 <u>伊藤麻衣</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
33	セミアクティブ免震の振動台実験とリアルタイム・ハイブリッド実験、※板原圭樹、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、口頭発表、査読無、2018.6.
34	MRダンパーによるセミアクティブ制御効果の複素剛性ダンパーモデルによる評価、※伊庭駿、 <u>藤谷秀雄</u> 、 <u>伊藤麻衣</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
35	スライディングモード制御を用いた低層部集中セミアクティブ制御に関する研究、※大平康弘、 <u>藤谷秀雄</u> 、 <u>伊藤麻衣</u> 、平成30年度日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪、口頭発表、査読無、2018.6
36	セミアクティブ免震の振動台実験とリアルタイム・ハイブリッド実験 その2 リアルタイム・ハイブリッド実験の有効性の検証と時間遅れを考慮した解析、※板原圭樹、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
37	振動台の用いた TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験手法の妥当性の検証と TMD による制振効果、※西川慶一郎、岡野将幸、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
38	振動台を用いた TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験手法の提案、※岡野将幸、西川慶一郎、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
39	免震建物の擁壁衝突時の上部構造の応答と減衰効果に関する研究 その2 非衝突解析による層間鋼材ダンパー量の算定、※森貴史、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>福井弘久</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
40	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その3：荷重計測結果より求めた力積と上部構造の応答と関係、※福井弘久、 <u>伊藤麻衣</u> 、 <u>藤谷秀雄</u> 、 <u>向井洋一</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集、東北、口頭発表、査読無、2018.9.
41	各種センサを用いた住宅内行動センシング、※島田樹、谷明勲、 <u>山邊友一郎</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集（東北）、口頭発表、査読無、2018.9
42	マルチエージェントを用いた垂直避難を考慮した津波避難シミュレーション、※堀田海世、谷明勲、 <u>山邊友一郎</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集（東北）、口頭発表、査読無、2018.9
43	MASによる誘導サインの効果に関する研究、※竹吉和史、谷明勲、 <u>山邊友一郎</u> 、日本建築学会大会学術講演梗概集（東北）、口頭発表、査読無、2018.9
44	Urban shrinkage and sprawl after disasters: Fragmented cities following the Great East Japan Earthquake, ※ <u>Kondo, T.</u> , International 9th i-Rec conference, University of Florida Gainesville, June 2019 (審査有り)

◎ 45	Towards a comparative framework of adaptive planning and anticipatory action regimes in Chile, Japan and the US, An exploration of multiple contexts informing risk-based planning and relocation in coastal areas, ※ <u>Naoko Kuriyama</u> , <u>Liz Maly</u> , Jorge Leon, <u>Dan Abramson</u> Ann Bostrom, Robert Freitag and Lan Nguyen, World Bosai Forum 2019, 仙台国際センター, 口頭発表、査読無、2019年11月
46	Kataribe-storytelling in post-disaster Japan: rebuilding places and community resilience from personal narratives and local knowledge, ※ <u>Flavia Fulco</u> , Symposium: Resilient living environments in the recovery from the disaster, 神戸大学, 口頭発表、査読無、2020年2月
47	Community-Based Post Disaster Recovery of Gathering Spaces in GEJE-2011 affected areas, ※Yegane Ghezelloo, <u>Abel Táiti Konno Pinheiro</u> , <u>Akihiko Hokugo</u> , Symposium: Resilient living environments in the recovery from the disaster, 神戸大学, 口頭発表、査読無、2020年2月
48	アメリカの被災者支援制度について：仮設住宅と連続復興。東日本大震災復興シンポジウム宮城ヴォイス, ※ <u>マリ・エリザベス</u> , 仙台, 口頭発表、査読無、2019.7
49	Kataribe-storytelling in post-disaster Japan: rebuilding places and community resilience from personal narratives and local knowledge, ※ <u>Fulco, Flavia</u> , Silk Cities International Conference 2019: Reconstruction, Recovery and Resilience of Historic Cities and Societies. L'Aquila, Italy. 口頭発表、査読無、July 10-12, 2019.
50	Hierarchies of affectedness and social dynamics in post-3.11 Japan, Resilient living environments in the recovery from the disaster, ※ <u>Gerster, Julia</u> , . Symposium. Kobe, Japan, 口頭発表、査読無、February 4 2020.
51	The Role of Residential Buyouts in Post-Disaster Housing Recovery Support: A Comparison of Recent Cases from Japan and the United States, ※ <u>Elizabeth Maly</u> , <u>Tamiyo Kondo</u> , Michiko Banba, Kanako Iuchi, The 18th International Planning History Society Conference - Yokohama, 口頭発表、査読無、July 2018
52	梁貫通形式角形 CFT 柱梁接合部に関する実験的研究（その2）貫通梁直交方向の検討, ※ <u>藤永 隆</u> , 村田瑞穂, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 野々市, 口頭発表、査読無、2019年9月
53	鋼管拘束された孔あき鋼板ジベルの引抜き耐力, 日本建築学会大会学術講演梗概集, ※ <u>中嶋圭吾</u> , <u>藤永 隆</u> , 野々市, 口頭発表、査読無、2019年9月
○ 54	Effects of Core Concrete on the Buckling Behavior of Ultra-High Strength Reinforcement Bars, ※Aixin ZHOU, Pengjun LUO, <u>Takashi TAKEUCHI</u> , <u>Yuping SUN</u> , 2019 IABSE Congress, New York City, 口頭発表、査読有、pp. 2084-2089, September 4-6, 2019
55	矩形 RC 造片持ち耐力壁の耐震性能に関する研究（その4 集中鉄筋の配置形式の影響）, ※ <u>魏 丞瑾</u> , <u>孫 玉平</u> , <u>竹内 崇</u> , 武田 恭典, <u>藤永 隆</u> , 日本建築学会大会（北陸）, 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9.
56	2 回連続地震入力を受ける超高層鋼構造建物の応答特性に及ぼす部材の耐力劣化の影響に関する解析的研究, ※ <u>袁 士宇</u> , <u>竹内 崇</u> , <u>孫 玉平</u> , 日本建築学会大会（北陸）, 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9
57	SBPDN 鉄筋の定着手法ならびに付着特性に関する実験的研究（その1 転造ねじ定着の定着耐力）, ※ <u>阪中 樹</u> , <u>封 彧</u> , <u>竹内 崇</u> , 武田 恭典, <u>孫 玉平</u> , 日本建築学会大会（北陸）, 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9.
58	SBPDN 鉄筋の定着手法ならびに付着特性に関する実験的研究（その2 アンカー定着時の付着特性の検討）, ※ <u>封 彧</u> , <u>阪中 樹</u> , <u>竹内 崇</u> , 武田 恭典, <u>孫 玉平</u> , 日本建築学会大会（北陸）, 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9.
59	正負交番载荷を受けるプレキャスト・プレストレストコンクリート柱の画像解析によるひび割れ挙動の把握, ※ <u>生田麻実</u> , <u>三木朋広</u> , 土木学会第74回年次学術講演会, 土木学会, 香川大学, 口頭発表、査読無、2019年9月

◎ 60	Toward a Development of Resilient Structures using Precast and Prestressed Concrete Structural Components, ※ <u>Miki, T.</u> , Ikuta, A. and <u>Shing, B.</u> , 4th JCI-ACI Joint Seminar, Sustainable and Resilient Concrete Structures -Codes and Practices-, JCI, 札幌, 口頭発表、査読無、2019年7月
61	プレキャスト・プレストレストコンクリート柱の正負交番荷重下の損傷評価に関する研究, ※生田麻実, <u>三木朋広</u> , 2019年度土木学会関西支部年次学術講演会, 土木学会関西支部, 大阪大学, 口頭発表、査読無、2019年6月
62	接合部条件がプレキャスト・プレストレストコンクリート柱の耐震性状に与える影響, ※生田麻実, <u>三木朋広</u> , 2020年度土木学会関西支部年次学術講演会, 土木学会関西支部, 近畿大学, 口頭発表、査読無、2020年5月
63	極大地震動に対する鋼構造建築物の耐震性能確保に関わる費用対効果に関する研究—その2 減衰付加の効果—, ※孫光宇, 稲田祥太郎, <u>多賀謙藏</u> , 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 野々市, 口頭発表、査読無、pp.1185-1186, 2019.9
◎ 64	実大三層 K 形ブレース付き骨組の三次元有限要素解析, ※矢橋健太郎, 浅田勇人, Charles Roeder, Dawn Lehman, <u>Jeffrey Berman</u> , Andrew Sen: 2019年度日本建築学会近畿支部研究報告集 第59号, 口頭発表、査読無、pp.277-280, 大阪, 2019.6 (口頭発表)(審査無し)
◎ 65	実大三層 K 形ブレース付き骨組の三次元有限要素解析 -その1 実験と有限要素解析の概要-, ※浅田勇人, 矢橋健太郎, Charles Roeder, Dawn Lehman, <u>Jeffrey Berman</u> , Andrew Sen: 日本建築学会大会学術梗概講演集, 構造III, 口頭発表、査読無、pp.955-956, 野々市, 2019.9
◎ 66	実大三層 K 形ブレース付き骨組の三次元有限要素解析 -その2 各部の挙動-, ※矢橋健太郎, 浅田勇人, Charles Roeder, Dawn Lehman, <u>Jeffrey Berman</u> , Andrew Sen, 日本建築学会大会学術梗概講演集, 構造III, 口頭発表、査読無、pp.957-958, 野々市, 2019.9
67	METHOD FOR IMPROVING PLASTIC DEFORMATION CAPACITY OF STEEL STRUCTURE COLUMN BASE, ※Yudai Takahashi, <u>Kenzo Taga</u> , Proc. of the 12th Pacific Structural Steel Conference, Tokyo, Japan, 口頭発表、査読無、November 9 -11, 2019
68	NON-WELDED JOINT SYSTEM OF STEEL STRUCTURES FOR EARTHQUAKE RESISTANCE AND COLUMN AND BEAM REUSE, ※SAWADA Masahiko, <u>Taga Kenzo</u> , <u>Tanaka Tsuyoshi</u> , Proc. of the 12th Pacific Structural Steel Conference, Tokyo, Japan, 口頭発表、査読無、November 9 -11, 2019
69	ティフランジに切削加工を施したスプリットティの塑性変形能力に関する研究, ※澤田真彦, 馬場拓也, <u>多賀謙藏</u> , <u>田中剛</u> , 竹島徹, 梅本優也, 2019年度日本建築学会近畿支部研究報告集 第59号, 口頭発表、査読無、pp.297-300, 大阪, 2019.6
70	箱形断面部材を用いた鋼構造建築物柱脚部の塑性変形能力改善手法に関する研究, ※高橋優大, LEE JOONKWON, <u>多賀謙藏</u> , 浅田勇人, <u>田中剛</u> , 竹島徹, 中尾尊澄, 梅本優也, 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、pp.1267-1268, 野々市, 2019.9
71	鋼構造建築物における柱脚補強が耐震安全性向上に寄与する効果に関する研究, ※山内一輝, 高橋優大, LEE JOONKWON, <u>多賀謙藏</u> , 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、口頭発表、査読無、pp.1269-1270, 野々市, 2019.9 (口頭発表)(審査無し)
72	耐震性と柱梁母材の再利用性に配慮した鋼構造無溶接接合システム その3 塑性化スプリットティの繰り返し載荷試験, ※澤田真彦, 馬場拓也, <u>多賀謙藏</u> , <u>田中剛</u> , 吉敷祥一, 鄭皓文, 竹島徹, 梅本優也, 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、pp.861-862, 野々市, 2019.9
73	耐震性と柱梁母材の再利用性に配慮した鋼構造無溶接接合システム その4 塑性化スプリットティの有限要素解析, ※馬場拓也, 澤田真彦, <u>多賀謙藏</u> , 吉敷祥一, 鄭皓文, 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、pp.863-864, 野々市, 2019.9

74	高力ボルト摩擦接合部のすべりを考慮した鋼製橋脚の耐震性能, 岩本望, ※橋本國太郎, 令和元年土木学会関西支部年次学術講演会, 大阪大学, 口頭発表, 審査無, 2019.6
75	ANTI-CATASTROPHE PERFORMANCE IMPROVEMENT OF MULTI-PIPE INTEGRATED BRIDGE PIER WITH HIGH PERFORMANCE SHEAR PANEL DAMPERS, ※K. Sugiura, K. Hashimoto, K.Otsuka, International Conference in Commemoration of 20th Anniversary of the 1999 Chi-Chi Earthquake, Taipei, 口頭発表
◎ 76	Cyclic behavior of steel bridge pier with frictional bolted joints, ※K. Hashimoto, Chia-Ming Uang, 2nd Kobe University and UC San Diego Joint Workshop on Structural Engineering Research, UC San Diego, 口頭発表, 審査無, 2019.11
77	建築構造物のレジリエンスと事業継続の確保に関する事例調査と考察, ※明石直樹, 藤谷秀雄, 伊藤麻衣, 日本建築学会近畿支部研究報告集第59号, 構造系, 口頭発表、査読無、pp.29-32, 大阪, 2019年6月
78	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その3 加速度データを用いた層せん断力の評価, ※福井弘久, 伊藤麻衣, 向井洋一, 藤谷秀雄, 日本建築学会近畿支部研究報告集第59号, 構造系, 口頭発表、査読無、pp.97-100, 大阪, 2019年6月.
79	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その4 衝突時に生じる高周波数加速度に関する検討, ※宮本郷生, 福井弘久, 伊藤麻衣, 向井洋一, 藤谷秀雄, 日本建築学会近畿支部研究報告集第59号, 構造系, 口頭発表、査読無、pp.101-104, 大阪, 2019年6月.
80	リアルタイム・ハイブリッド実験による可変減衰 TMD の制振効果の検証, ※岡野将幸, 伊藤麻衣, 藤谷秀雄, 日本建築学会近畿支部研究報告集第59号, 構造系, 口頭発表、査読無、大阪, pp.125-128, 2019年6月.
81	レジリエントな建築構造物の実現に向けた継続使用性の確保, ※富永萌花, 伊藤麻衣, 藤谷秀雄, 日本建築学会近畿支部研究報告集第59号, 構造系, 口頭発表、査読無、pp.129-132, 大阪, 2019年6月.
82	セミアクティブ免震の振動台実験とリアルタイム・ハイブリッド実験 その3 MR ダンパーの周波数特性を考慮したモデル化の検討, ※板原奎樹, 伊藤麻衣, 藤谷秀雄, 伊庭 駿, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.81-82, 野々市, 2019年9月.
83	免震建物の擁壁衝突時の上部構造の応答と減衰効果に関する研究 その3 上部構造にオイルダンパーを配置した擁壁衝突実験結果, ※森 貴史, 伊藤麻衣, 福井弘久, 藤谷秀雄, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.203-204, 野々市, 2019年9月.
84	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その5 周波数領域から検討を行った応答評価, ※福井弘久, 伊藤麻衣, 向井洋一, 藤谷秀雄, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.205-206, 野々市, 2019年9月.
85	免震構造の擁壁衝突時の挙動 その6 衝突時に生じる高周波数成分の同定, ※宮本郷生, 福井弘久, 伊藤麻衣, 向井洋一, 藤谷秀雄, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.207-208, 野々市, 2019年9月.
86	建築構造物のレジリエンスと事業継続の確保に関する対策の分類と考察, ※明石直樹, 藤谷秀雄, 伊藤麻衣, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.607-608, 野々市, 2019年9月.
87	可変減衰機構を有する TMD のリアルタイム・ハイブリッド実験による性能検証, ※伊藤麻衣, 岡野将幸, 藤谷秀雄, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造II, 口頭発表、査読無、No,21041, pp.839-840, 野々市, 2019年9月.
88	免震建物の擁壁衝突時の応答評価に関する考察, ※福井弘久, 向井洋一, 伊藤麻衣, 藤谷秀雄, 第65回理論応用力学講演会, 口頭発表、査読無、札幌, OS12, C000020, 2019.6
89	極大地震動に対する免震建築物の安全性確保に関する研究 (その2) 鋼材を用いた弾塑性制動装置による応答低減, ※福田朗子, 松田和樹, 岸田明子, 多賀謙藏, 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、pp.237-238, 野々市, 2019.9

90	極大地震動に対する免震建築物の安全性確保に関する研究(その3)鋼材を用いた弾塑性制動装置の塑性変形能力向上手法, ※松田和樹, 福田朗子, <u>岸田明子</u> , <u>多賀謙藏</u> , 2019年度日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 口頭発表、査読無、pp.239-240, 野々市, 2019.9
91	免震層の過大変形制御手法(免震の制振), ※ <u>多賀謙藏</u> , <u>岸田明子</u> , 松田和樹, 福田朗子, シンポジウム「巨大地震に備えて免震・制振技術に期待すること」, pp.29-38, 日本建築学会近畿支部耐震構造研究部会、大阪, 口頭発表、査読無、2019.11
92	振動台によるAMDのリアルタイム・ハイブリッド実験システムに関する研究, ※伏原小裕, 横山綾香, 内田小百合, <u>向井洋一</u> , 日本地震工学会・大会2019, 口頭発表、査読無、京都, 2019.9.
93	飛来物の衝突作用による板ガラスの破壊と飛散挙動の定量的評価ーその2 膜材による衝撃低減効果の検証実験, ※松本真樹, 小原博人, <u>向井洋一</u> , 堀慶朗, 第65回理論応用力学講演会, 札幌, 口頭発表、査読無、pp.283-284, 2019.6
94	Computer Modeling to Estimate Destructing Behavior of Window Glass Caused by Colliding Objects, ※Hiroto Kohara, <u>Yoichi Mukai</u> , Masaki Matsumoto, Yoshiro Hori, Yasuyuki Nagan, The Asian Pacific Congress on Computational Mechanics (APCOM2019), 口頭発表、査読無、Taiwan, 2019.12.
95	Anri Miyauchi, Yasuyuki Nagano, Ram Prasad Suwal: Micro-tremor Measurement of Damaged Masonry Buildings in Bhaktapur after the 2015 Gorkha Earthquake in Nepal, ※Hayato Hoshino, Masato Takeuchi, <u>Yoichi Mukai</u> , Naohiko Yamamoto, Masaya Masui, 2nd International Conference on Earthquake Engineering and Post Disaster Reconstruction Planning, Nepal, 口頭発表、査読無、pp.292-301, 2019.4.
96	Observation of Reconstruction Situation in the Old Town Area in Bhaktapur Damaged by the 2015 Earthquake, ※ <u>Yoichi Mukai</u> , Masato Takeuchi, Hayato Hoshino, Naohiko Yamamoto, Masaya Masui, Anri Miyauchi, Ram Prasad Suwal, 2nd International Conference on Earthquake Engineering and Post Disaster Reconstruction Planning, Nepal, 口頭発表、査読無、pp.468-477, 2019.4.
97	On-Site Visualization for advanced safety management and maintenance for tunnels, ※ <u>Shinichi AKUTAGAWA</u> , Proceedings of the CECAR (Civil Engineering Conference in the Asian Region) 8, Resilient infrastructures in Seamless Asia, Hotel Metropolitan Ikebukuro, Tokyo, Japan, 口頭発表、査読無、April 16-19, 2019.
98	GAを用いた鉄骨構造物の設計支援システムの構築ー部材配置及び断面最適化に関する検討ー, ※ <u>山邊友一郎</u> , 山本雅浩, 谷明勲, 日本計算工学会計算工学講演会論文集, 大宮, 口頭発表、査読無、2019.5
99	各種センサを用いた住宅内行動センシング, ※島田樹, 谷明勲, <u>山邊友一郎</u> , 日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9
100	GAとMASを用いた教科教室型中学校の教室配置最適化に関する研究, ※藤川滉暉, <u>山邊友一郎</u> , 谷明勲, 日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9
101	階層型ニューラルネットワークを用いた多層構造物の応答・損傷推定, ※横井秀平, 谷明勲, <u>山邊友一郎</u> , 日本建築学会大会学術講演梗概集(北陸), 野々市, 口頭発表、査読無、2019.9
102	オープンソースハードウェア及びオープンソースソフトウェアを用いた動画解析による地震時応答モニタリング, ※谷明勲, 川手滉一郎, <u>山邊友一郎</u> , 第42回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集(報告), 港区, 口頭発表、査読無、2019.12
103	振動制御構造に関するいくつかの取組, ※ <u>藤谷秀雄</u> , 日本学術振興会, 制震(振)構造技術第157委員会, 第6期第4回研究会資料, 口頭発表、査読無、pp.1-41, 東京, 2019年10月

104	Computer Modeling to Estimate Destructing Behavior of Window Glass Caused by Colliding Objects, ※Hiroto Kohara, <u>Yoichi Mukai</u> , Masaki Matsumoto, Yoshiro Hori, Yasuyuki Nagano, The 7th Asia-Pacific Congress on Computational Mechanics (APCOM2019) Abstract Proceedings, Asian Pacific Association for Computational Mechanics, (MS1101B)426, 口頭発表、査読無、2019.
105	磁場の変化を利用したコンクリート壁背面での空洞進展モニタリングと可視化, ※ <u>芥川真一</u> , 大島淳矢, 伊藤良介, 口頭発表、査読無、Kansai Geo-symposium, 2019.11.
106	プラスチックファイバーセンサーを利用した地下鉄トンネルの漏水検知事例, ※伊藤聡, 小西真治, 今泉直也, 榎谷祐輝, 田中大介, 水原勝由, 町島祐一, <u>芥川真二</u> , 増本 智紀, 土木学会第29回トンネル工学研究発表会, 口頭発表、査読無、報告 III-3, 2019.11.